

検討の観点

内容の特色・具体例

1. 教科の目標、および学習指導要領などへの対応

(1) 教科の目標達成が図られているか。

<p>国語で理解し表現する資質・能力の育成 思考力・伝え合う力・言語感覚</p> <p>●何を理解しているか、何が できるか（生きて働く「知識・技能」の習得）</p>	<p>○国語による理解力や表現力を育成し、伝え合う力、豊かな言語感覚を養うために、系統的な学習を意図して教材の目標やねらいを明確にし、言葉による見方・考え方をはたらかせて、生徒が自ら学び、自ら考える力を身につけられるように配慮している。</p> <p>○言葉の機能やはたらきを知り、言葉そのものに興味・関心をもちながら、言葉をとおしてものごとを的確に理解し、論理的に考え、表現する能力を高められるよう配慮している。</p> <p>○他者との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら言葉を通じて伝え合い、理解し合う能力を育成できるよう配慮している。</p> <p>○さまざまな題材、ジャンル、文種による作品を読み、多様な世界について興味をもち、知り、考えることをとおして、思考力、判断力、表現力や読書生活の向上につながられるよう図っている。</p> <p>○長く受け継がれている我が国の言語文化にふれ、親しむことにより、感性や情緒を高め、これを尊重して次の世代につないでいく態度を育成できるよう図っている。</p> <p>○国語科で学んだ知識・技能を、他教科の学習や日常生活、社会生活の中で活用できるよう工夫している。</p>
<p>●理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成）</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、多様な話題・内容を取り上げた学習の中で自ら「問い」をもち、課題を発見し、考え、表現し、伝え合う能力を育成できるよう工夫している。</p> <p>○他者との関わりの中で、言葉をとおして、互いの立場や考えを理解し、尊重し、伝え合う「対話力」を高め、考えを深め合うことで、道徳的な考え方が育成できるよう配慮している。</p> <p>○国際的な視野をもち、国語で学んだ知識・技能を生かして、多様な情報を理解し、活用する能力を高め、社会のさまざまな課題に対して、主体的に関わり、考え、解決する能力を養えるよう工夫している。</p>
<p>●どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）</p>	<p>○新しい時代の社会を担う一員として、生活や社会におけるさまざまな課題に対して、それを発見し、他者との協働的な活動の中で、コミュニケーション力を高め、互いの立場や考えを尊重し、よりよい解決を目指す態度と能力を育成できるよう、配慮している。</p> <p>○古典から現代まで、多様な言語作品にふれることをとおして、我が国の言語文化はもとより、他の地域などの文化についても興味・関心をもち、享受することを楽しみ、次の世代につないでいく意欲や態度を育成できるよう配慮している。</p> <p>○生涯にわたる読書生活を豊かなものにできるよう、工夫している。</p>

(2) 教育基本法や学校教育法への対応はどのようになされているか。

<p>①共に生きる視点を持ち、自ら学び・自ら生きる力を育成</p>	<p>○現代の諸課題に言葉の教育という側面から応え、新たな時代を切りひらいていくことのできる生徒を育てることを主眼としている。国語科として、生徒が言語活動をとおして、人（他者）と交わりながら共に生きていく視点をもち、自ら学び、自ら生きる力を培えることを旨としている。</p> <p>○社会生活の中で、「共に生きていく」視点をもつこと、お互いを尊重し合える心をもつこと、自らの未来に展望をもち希望をもつこと、これらを国語学習の中で育めるように教材化を図っている。</p>
<p>②「伝え合う力」の育成と学び合い</p>	<p>○社会での合意形成を可能にする「対話力」の育成を目標に言語コミュニケーションを重視し、多様な情報に関する知識や課題とともに、さまざまなジャンルや多様なテーマにふれ、交流することで、お互いの気持ちや考えを深め合うように意図している。</p> <p>○学習過程において、互いの立場を尊重しながら、課題の解決に向けて自分の意見を交流する場を設け、「伝え合う力」の育成を図っている。</p>
<p>③学ぶ意欲と豊かな心を育てる</p>	<p>○SDGsの課題など、各領域等の教材で、一人一人の生徒が課題をもち、「問う」力を身につけ、自ら学ぶ意欲をもつように教材を作成している。また、想像力や豊かな心を育む教材を選定している。</p> <p>○どのように学ぶか、「学び方」を明確に示し、生徒が学習の見通しや興味をもてるように意図している。</p>
<p>④伝統や情緒を尊重する態度を育てる</p>	<p>○長く受け継がれている古典や近代文学などを取り上げ、日本の古典文学を代表する作品を取り上げるとともに、視覚資料を充実し、コラム教材を設定するなど、多様な教材化をはかることにより、郷土を愛し、我が国の言語文化に親しみ、継承する態度を育てることができるよう教材化を工夫している。</p>

(3) 学習指導要領の改訂への対応はどのようになされているか。

<p>①学習指導要領の趣旨をおさえ、内容・系統を適切に構成</p>	<p>○言葉による見方・考え方をはたらかせ、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を高めるために、各領域等での教材を工夫している。</p> <p>○各学年の目標及び内容を漏れなく扱えるよう、教材を作成、配置している。</p> <p>○各単元や教材の目標、内容を明確に示し、3学年で系統的・段階的に学習が進められるよう構成している。</p>
<p>②〔知識及び技能〕と（思考力、判断力、表現力等）の習得と活用をとおして、言葉による見方・考え方を着実に育成し、身につける</p>	<p>○学習指導要領に示された言語活動例を漏れなく扱えるよう、〔知識及び技能〕と（思考力、判断力、表現力等）との習得、活用を相互に生かして学習できるように、教材を作成し、配置している。</p> <p>○〔知識及び技能〕と（思考力、判断力、表現力等）の学習が、バランスよく各学期の中に位置づけられるように配慮している。また、教材には学習目標や学習の手だて、学習の振り返りの観点を明示し、学習の系統化や重点化を図っている。</p> <p>○文章や話の内容を的確に「読み」「聞き」、理解するために必要な基礎的・基本的な知識・技能を明確に示して習得をはかるとともに、その活用により、教材から自ら課題を発見し、「問い」を立て、多角的・多面的に考え表現することができるような話題や題材を取り上げた教材を開発し、言葉による見方・考え方を着実に育成できるように図っている。</p>
<p>●教材での学習の重点をまとめ、意識づける「学びナビ」 </p>	<p>○教材で学ぶべき基礎的・基本的な内容を学習の冒頭の段階で「学びナビ」として取り立て、表現や読む学習での観点を明確にし、生徒が学習の見通しとかまえをもち、（思考力、判断力、表現力等）との間での習得、活用をとおして、着実に身につけることができるようにしている。</p> <p>*「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、表現活動の中ではたらく「思考力」を、語彙や情報の扱いと関連させて「学びナビ」で取り上げ、活用できるようにしている。</p> <p>*「読むこと」教材では、文章が「どのように書かれているか」を学び、文章の「読み方」を知ることで、「何が書かれているか」だけでなく、作品の内容や作者・筆者の意図などを的確に読めるよう、工夫している。</p> <p>*「メディアと表現」教材では、写真、広告、アニメーション、ニュースなど、生徒が日常生活で接する多様な表現媒体について取り上げ、それぞれの媒体の特質について「学びナビ」で解説し、理解をはかることができるようにしている。</p>
<p>●領域等の関連の重視</p>	<p>○各単元を構成する教材は、話題・内容や知識・技能の点で関連性・連続性をもたせ、学習内容や学習意欲が継続的に展開できるように配慮している。</p> <p>○「読むこと」教材では、学習の手引き「みちしるべ」において「言葉と表現」の項目を設け、言語的な知識・技能を文章などの</p>

	<p>読みに活用し、さらに読みを深めることができるよう配慮している。</p> <p>○領域等の間で、学習上の関連性の高い内容や参考となる内容については、マーカーでその教材などを示し、相互の活用、習得を高めるようにしている。</p>	<p>1年 P98「文法の小窓2 文の成分」、2年 P72「夢を跳ぶ」、3年 P201「表現の工夫を評価してスピーチをする」、など</p>
③学習の系統性の重視 ●学習の見直しと振り返り	<p>○学習内容の明確化、焦点化をはかり、学習の見直しをもたせるため、教材ごとに重点的に学ぶ事項を設定し、「学びナビ」「ここが大事」「目標」などで示している。</p> <p>○「目標」などによる見直しと「振り返り」を位置づけることで、主体的な学びを促し、自らの学習を認識し、次の学習へとつながるよう配慮している。</p>	
④学習過程の明確化 ●「学習の重点と進め方」の明示	<p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、学習の過程が明確となるよう、学習の進め方と重点を教材の冒頭や学習活動の手順「学習活動の流れ」に明示している。</p> <p>○「読むこと」教材では、学習の手引き「みちしるべ」において、主として「構造と内容の把握」「精査・解釈」を扱う「内容を読み深めよう」と、主として「考えの形成・共有」「言語活動」をおさえる「自分の考えを伝え合おう」の2段階の学習のステップを提示している。</p>	
⑤言語活動の充実	<p>○各領域の教材で学習指導要領に示された言語活動例を指導事項と対応させ、バランスよく設定している。</p> <p>*「言葉の地図」により、教材ごとの「指導事項」や「言語活動」を総覧でき、いつでも自分の学習の位置づけを認識できるようにしている。(各学年 P8)</p> <p>*「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、教材名や目標でも言語活動を明示し、さらに、「目標」「学習活動の流れ」で、学習の見直しと重点、言語活動を示している。</p> <p>*「読むこと」教材の学習の手引き「みちしるべ」での「自分の考えを伝え合おう」で示される学習課題は、言語活動を位置づけた授業の学習課題として取り組むことを盛り込んでいる。</p>	
⑥語彙の量や質を拡充し、情報の扱い方との関連で思考力を高める	<p>○「学びナビ」では、語彙と情報の扱い方を関連づけた「思考」を取り立て、文章などの理解力や、自らの表現力を高めることができるよう設定している。</p> <p>○「読むこと」教材では、教材文を読むうえで重要な語句や文型を脚注に取り立て、意識づけを図っている。さらに、学習の手引き「みちしるべ」にそれを「この教材で学ぶ言葉」として一覧にまとめ、語彙や思考力の学びを促すようにしている。</p> <p>○教材で取り上げた「思考」と関連する表現を取り上げ、論理的思考力の育成に資するよう工夫している。</p>	<p>1年 P71「材料を整理して案内文を書く」、2年 P197「ガイアの知性」、3年 P235「意見を共有しながら話し合う」、など</p>
⑦我が国の言語文化に関する学習の重視	<p>○各学年に古典作品と近代文学を取り上げる単元を設け、それぞれを代表する作品を学習するよう系統立てている。また、付録「言葉の自習室」でも古典作品を取り上げ、それぞれの作品の理解を深められるよう配慮している。</p> <p>○季節を話題にした和歌と俳句を取り立てる「四季のたより」を季節ごとに各学年4本設け、古典作品と日本の季節感の相互の関係を読み味わえるようにしている。</p> <p>○付録「言葉の自習室」では、古典に関する知識や、伝統芸能に関する教材を設け、古典学習を深められるよう配慮している。</p>	<p>1年 P296「蓬萊の玉の枝と傷りの苦心談」、2年 P310「扇の的」、3年 P310「古典文学の名作」、など</p> <p>1年 P305「伝統芸能へのいざない 落語」、P306「小倉百人一首」、P310「十二支と月の呼び名」、2年 P324「伝統芸能へのいざない 歌舞伎」、3年 P314「伝統芸能へのいざない 狂言」、など</p>
⑧読書に親しみ、生涯の読書生活への基盤を築く	<p>○学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図ったり、インターネットなどを適正に活用したり、読書交流を行ったりする教材を全学年に設けている。</p> <p>○付録「言葉の自習室」では、読書作品として、多様な文種や話題の作品を掲載している。</p> <p>○各単元のキーワードや教材の内容に関連した図書を、単元ごとに「広がる本の世界」を設けて紹介している。また、デジタル資料「まなびリンク」では、図書館司書の仕事や図書館活用と関連させた図書紹介を行っている。(教科書274冊+まなびリンク67冊=計341冊)</p> <p>○各学年巻末の見返しには「ふるさと」を巡る』を設け、各都道府県を代表する作家と作品を写真ともに紹介し、読書への誘いを図っている。</p>	<p>1年 P52「ベンチ」、2年 P72「夢を跳ぶ」、3年 P48「薔薇のボタン」、など</p> <p>1年 P286「銀のしずく降る降る」、P298「花の詩画集」、2年 P306「悠久の自然」、P312「季節をうたう」、3年 P300「語り継ぐもの」、P304「言葉の力」、など</p> <p>1年 P28、2年 P70、3年 P71、など</p> <p>各学年 後見返し回</p>
⑨主体的・対話的で深い学びへの手立て	<p>○各教材の目標と振り返りを明確に示し、学習の見直しをもち、自分の学習を認識することができるよう配慮している。</p> <p>○「学びナビ」では、文章を読む前や言語活動に取り組む前に、当該教材での学習の重点や学習内容の観点を把握することで、学習の見直しが明確になり、主体的に学習に関わるかまををつくり、読みを深めることができるよう図っている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材の学習活動や、「読むこと」教材の「みちしるべ」などで生徒の交流活動を設け、相互に課題を交換しながら主体的・対話的で深い学びが導かれるよう図っている。</p>	
⑩情操を豊かにし、道徳心を高める。	<p>○人間や社会に対する認識力を高める多彩な文学作品や、現代のさまざまな課題を探究する説明的文章、長く読み継がれている古典や近代文学の名作を取り上げ、生徒の情操や思考の育成に資するよう配慮している。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材などでは、生徒の日常生活、社会生活に多くの話題を取り、自ら課題を追究し、表現する活動をとおして、ものごとに向き合い、真摯に考える態度を養うよう図っている。</p> <p>○各領域にSDGsに関わる、人権、平和、環境、産業など、生徒が日頃の生活で向き合っている課題について、自ら考え、表現する力を高められるよう図っている。</p>	
⑪カリキュラム・マネジメントの推進を支える ●他教科での国語力の基礎に資する ●SDGsの視点での関連	<p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、教材末の「学びを生かそう」で、国語力で学んだことを他教科や日常生活に活用できるよう示唆している。</p> <p>○各学年の「総合 (SDGs)」教材をはじめ、各領域等にSDGsや生徒が日常的に向き合っている課題を取り上げた教材を置き、社会科、理科、道徳などでの学習との関連が図れるように配慮している。</p> <p>○言語教材では、他言語、特に英語との関連を取り上げた教材を設けている。</p> <p>○「メディアと表現」教材では、広告、新聞、ニュースなど、生徒が日常で接している多様なメディアの特質を理解することで他教科での学習活動にもつながるよう配慮している。</p>	<p>1年 P99「根拠を明確にして意見文を書く」、2年 P233「よりよい結論を導く討論をする」、3年 P57「構成を考えて主張をまとめる」、など</p> <p>1年 P27・272「言葉の単位」、P46「日本語の音声」、3年 P162「慣用句・ことわざ」、など</p> <p>1年 P102「広告の情報を考える」、3年 P64「新聞が伝える情報を考える」・P108「ニュースで情報を編集する」、など</p>
⑫評価への手がかり	<p>○「学びナビ」では学習の重点を取り上げ、指導の見直しと評価の観点を把握しやすいよう図っている。</p> <p>○各教材の目標と振り返りでは、(知識及び技能)と(思考力、判断力、表現力等)の事項をおさえ、評価の観点を明確にしている。</p> <p>○各学年の「言葉の地図」のP7には、ページ末に振り返りの観点を示し、「主体的に学習に取り組む態度」の手がかりとなることを示している。</p>	

2. 教科書の構成と内容

(1) 全体の構成・組織・配列・系統

①単元や教材の構成	<p>○指導内容を螺旋的・反復的に繰り返して学力向上を図った指導ができるように、学年間と学年を通しての系統的な単元構成を意図している。</p> <p>○教科書全体を、必須・必修教材を中心に単元化した本教材(第1、2学年9単元、第3学年8単元)と、学習時期を柔軟に扱ったり、補充・参考として扱ったりする小教材、資料などとに分け、学習内容に応じて効率的、効果的に年間の学習計画が組み立てられるように構成している。</p> <p>○1年間の学習を、学習指導要領の学習過程を踏まえながら、各単元では、言語能力の観点から(知識及び技能)と(思考力、判</p>
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>断力、表現力等)の活用を図れるよう、(思考力、判断力、表現力等)における各領域の教材を軸に、(知識及び技能)を重点とした教材を組み合わせ構成している。</p> <p>○各単元には、単元を構成する教材で取り上げている話題・内容に応じて生徒がさまざまな課題について考える手立てとなるよう、三つずつのキーワードを七つにまとめ、3年間で各単元に設定している。</p> <p>・表現/対話/思想 ・自然/環境/科学 ・人権/多様性/平和 ・伝統/文化/歴史</p> <p>・身体/生命/家族 ・近代化/国際社会/共生 ・自己/他者/物語</p> <p>※上記キーワードのそれぞれは、国語科として学ぶべき課題や、生徒が日常生活で直面する現代的、現実的な課題などを広く視野に入れて設定している。</p> <p>○各学年の『言葉の地図』(各学年P6)では、教科書全体の仕組みや構成、各教材に設定されている指導事項や言語活動などが一覧できるようにまとめている。また、「主体的に学習に取り組む態度」の評価につながるよう、自らの学びを振り返る観点も示している。(各学年P7左下欄)</p> <p>○1年間を通じて各領域等の教材を偏りなく配列し、定期考査など学習評価に際してもバランスが取れるようにしている。また、3学年で体系的に展開できるよう、前後の学年との単元構成を系統化している。</p>
②生徒の発達段階と内容への考慮 ●冒頭時期での配慮 ●卒業時期への配慮	<p>○中学校最初の文学教材、説明文教材では、それぞれコラム「文学入門」(1年P16)、「学びナビ」の「文章の構成を捉える」(1年P32)を設け、小学校の学習の振り返りと、中学校での学習の見通しを意識づけられるよう図っている。それを含むおよそ1学期の間を移行期と設定している。</p> <p>○第3学年では、卒業時期を考慮し、指導事項を2学期までに終えるように配当している。3学期は授業時数などの実態に応じた柔軟な扱いができるように構成している。</p>
③2学期制・3学期制に対応	○2学期制・3学期制の どちらにも対応 できるように、 単元・教材の配列や領域の配分 を考慮している。
④教員の「働き方改革」への対応	<p>○各教材の指導事項を重点化させて「言葉の地図」(各学年P8)に示し、指導の焦点化をはかることができるよう配慮している。</p> <p>○「学びナビ」で教材の文章や学習活動の前に学習内容の重点を示し、指導者も生徒も見通しをもてるよう構成されているため、指導や評価の焦点化がしやすく、指導の負担を減らせるよう図っている。</p>

(2) 内容の程度・分量

①教材数など ●単元数	○26単元(第1学年9単元 第2学年9単元 第3学年8単元)
●教材数	○本教材 206教材(第1学年70教材 第2学年68教材 第3学年68教材) ○付録教材 37教材(第1学年14教材 第2学年11教材 第3学年12教材)
●領域別教材数	○話すこと・聞くこと 15教材 ○書くこと 17教材 ○読むこと 51教材
●文種別教材数	○物語・小説・随筆(近代文学含む。古典除く) 17教材(+付録7教材) ○詩・短歌・俳句(巻頭詩含む) 10教材(+付録2教材) ○説明的文章(新聞記事含む) 15教材(+付録1教材)
●言葉の特徴や使い方に関する教材数	○言語・文法に関する教材 18教材 ○漢字に関する教材 29教材
●情報の扱い方に関する教材数	○35教材(+付録3教材)
●「伝統的な言語文化」に関する教材数	○古典(漢文・和歌・川柳含む。近代文学除く) 21教材(+付録9教材)
●紹介図書数	○教科書274冊+まなびリンク67冊=計341冊
②内容の展開など	<p>○各学年の配当時間の合計は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の配当時数を確保し、総時数では、書写の時間を引いた残りの時間内に収まるように設定している。</p> <p>○各領域の教材は、以下のように生徒の言語環境や発達段階を考慮している。</p> <p>※話すこと・聞くこと、書くこと……生活体験、職業体験、受験や就職など、生徒の日常生活や言語生活に応じた内容で、話題や課題を設定している。</p> <p>※読むこと……文学では、1年生はショートショートの短い作品から取り上げ、学習が進むに従い、翻訳や長文の小説へと文種を展開している。説明文では、構成の明確な説明から始め、徐々に評論、論説へと展開している。</p> <p>※読むこと教材の学習の手引き「みちしるべ」や、話すこと・聞くこと、書くこと教材の学習活動内容も、4月から3月へ、1年生から3年生へと、段階的に重点を積み上げていくようにし、「習得」と「活用」を、螺旋的に難易度を上げながら反復しておさえていくことができるようにしている。</p>

(3) 教材選定

①教材選定の観点 ●SDGsに基づく国語科の「不易」と「流行」 ●豊かな人間性・社会性	<p>○未来の社会の担い手となる中学生が、現在、あるいは将来に向き合う、SDGsを踏まえた現代的な課題を積極的に取り上げるとともに、国語科として時代を超えておさえておくべき、言葉の教育、我が国の言語文化、文学・読書など価値ある言語表現についても十分に学べるよう、教材の構成やバランスに配慮している。</p> <p>○自立した個人として、他者を尊重し、社会形成の一員としての自覚をもてるような教材を掲載している。</p> <p>1年P170「子どもの権利」、2年P104「紙の建築」、3年P96「問いかける言葉」、各学年「持続可能な未来を創るために」(1年P76、2年P94、3年P220)、など</p>
●多様性への理解	<p>○さまざまな立場や考え方の他者と理解し合うことができるような観点の教材を掲載している。</p> <p>1年P32「自分の脳を知っていますか」、2年P72「夢を跳ぶ」、P94「持続可能な未来を創るために——不平等のない社会を考える」、3年P57「構成を考えて主張をまとめる」、P230「『対話力』とは何か」、など</p>
●生命の尊重	<p>○生命の尊さをさまざまな角度から考えるための教材を掲載している。</p> <p>2年P122「教盛の最期」、P172「夏の葬列」、P242「豚」、3年P22「なぜ物語が必要なのか」、P220「持続可能な未来を創るために——人間の生命・存在を考える」、など</p>
●科学的・論理的な考察	<p>○社会のさまざまな課題に対して、根拠をもとに論理的に考えることのできる教材を掲載している。</p> <p>1年P32「自分の脳を知っていますか」、2年P54「水の山 富士山」、P115「根拠をもとに意見文を書く」、3年P74「AIは哲学できるか」、など</p>
●環境教育・自然保護	<p>○地球規模から身近な生活まで、環境や自然について考える教材を掲載している。</p> <p>1年P76「持続可能な未来を創るために——人の暮らし方を考える」、P86「森には魔法つかいがある」、2年P54「水の山 富士山」、P194「ガイアの知性」、P115「根拠をもとに意見文を書く」、など</p>
●国際協調や平和	<p>○国際理解や人権、平和について、深く考えるための教材を掲載している。</p> <p>1年P52「ベンチ」、P170「子どもの権利」、2年P104「紙の建築」、P172「夏の葬列」、3年P48「薔薇のボタン」、P96「問いかける言葉」、P300「語り継ぐもの」、など</p>
●豊かな情操・心の発達	<p>○情緒力を高め、人間としての成長を考えるための教材を掲載している。</p> <p>1年P14「ふしじ」、P128「蜘蛛の糸」、P240「少年の日の思い出」、2年P20「タオル」、P224「学ぶ力」、P246「走れメロス」、3年P16「立ってくる春」、P178「故郷」、P266「やわらかな願い」、など</p>
●安全・安心・防災	<p>○さまざまな災害などについてふれ、考える教材を掲載している。</p> <p>1年P86「森には魔法つかいがある」、2年P104「紙の建築」、3年P90「async——同期しないこと」、P108「ニュースで情報を集める」、など</p>
●郷土や地域を愛する心	<p>○身近な生活や地域に目を向け、その歴史的価値や未来への展望について考える教材を掲載している。</p> <p>1年P200「言葉がつなぐ世界遺産」、P212「地域から世界へ」、P286「銀のしずく降る降る」、2年P46「日本の花火の楽しみ」、P54「水の山 富士山」、P312「季節をうたう」、など</p>
●伝統的な言語文化	<p>○日本の伝統的な言語文化を味わい、受け継ぐ心を育てる教材</p> <p>1年P114「物語の始まり」、2年P122「教盛の最期」、P310「扇的」、P324「伝統芸</p>

	を掲載している。 能へのいざない 歌舞伎, 3年P116「旅への思い」, P126「和歌の調べ」, P134「風景と心情」, など
●日本の伝承	○日本古来より伝わる伝承について知る教材を掲載している。 1年P110「昔話と古典」, 3年P310「古典文学の名作」
●勤勞の意義とものづくり	○労働の尊さと意義を確認し、社会形成のために働く意志を育てる教材を掲載している。 1年P86「森には魔法つかいがある」, P200「言葉がつなぐ世界遺産」, P212「地域から世界へ」, 2年P46「日本の花火の楽しみ」, P104「紙の建築」, など
●食育	○食べることのありがたさや、食料を生産する人々への感謝など、食について考える教材を掲載している。 1年P86「森には魔法つかいがある」, 2年P242「豚」, など
●先達の言葉や生き方にふれる	○先人の生き方にふれ、自らの生き方を考える教材を掲載している。 1年P122「故事成語」, P286「銀のしずく降る降る」, 2年P142「二千五百年前からのメッセージ」, など
●情報活用	○生徒が身近な情報媒体について知り、それを活用して考え、表現するための教材を掲載している。 1年P52「ベンチ」, 2年P72「夢を跳ぶ」, 3年P108「ニュースで情報を編集する」, など
●メディア・リテラシーへの配慮	○生徒が日常で接する多様なメディアについて、媒体の特色や扱い方、接する際のモラルや注意点など、メディアに対する知識と活用を高める教材を掲載している。 1年P62「全ては編集されている」, P64「写真で「事実」を表現する」, P102「広告の情報を考える」, P226「漫画で「物語」を表現する」, 2年P84「SNSから自由になるために」, P86「脚本で動きを説明する」, P186「映像作品の表現を考える」, 3年P60「メディア・リテラシーはなぜ必要か?」, P64「新聞が伝える情報を考える」, P108「ニュースで情報を編集する」, など
●コミュニケーション力	○「分かり合うための言語コミュニケーション」(文化庁)なども視野に入れ、円滑なコミュニケーションを実現するための教材を掲載している。 1年P26「言葉とコミュニケーション」, 2年P64・276「敬語」, P236「社会生活と言語コミュニケーション」, 3年P107・273「相手に対する配慮と表現」, P200「コミュニケーションの場を考える」, P230「対話力」とは何か」, など
●実用的な文章	○日常生活や社会生活で求められる表現力を養う教材を掲載している。 1年P26「言葉とコミュニケーション」, 2年P69「社会で求められる表現」, P211「学びのチャレンジ」, 3年P111「実用文を読む」, P234「自分の意見を述べるとき」, など
●「読むこと」読書関連単元	○国語力の基礎として、読書生活を豊かにする教材を掲載している。 1年P52「ベンチ」, P128「蜘蛛の糸」, 2年P72「夢を跳ぶ」, P146「坊っちゃん」, P211「学びのチャレンジ」, 3年P48「薔薇のボタン」, P140「最後の一句」, 各学年「広がる本の世界」, 「言葉の自習室」の読書教材, など
●オリンピック・パラリンピックとの関連	○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関連し、オリンピック・パラリンピックに関する話題を取り上げた教材を掲載している。 2年P72「夢を跳ぶ」, 3年P64「新聞が伝える情報を考える」, P308「言葉でつなぐ世界」, など
②道徳への対応	○内容的にも形式的にも多様かつ多彩な文学作品、真理を追究する説明文、郷土や地域の伝統を重んじる伝統的な言語文化の教材などを豊富に掲載している。 ○「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材などでも、取り上げている話題などで、他者や地域との関わりについて考えて表現するなど、心の発達を促す教材を掲載している。 1年P99「根拠を明確にして意見文を書く」, 3年P57「構成を考えて主張をまとめる」, など
③他教科との関連	○各領域などで、SDGsも視野に入れた幅広い分野からの話題を取り上げ、他教科の内容との連携について配慮している。 ○表現に関する教材を中心に、他教科の学習に合わせて柔軟に取り組むことにより、他教科の学習を下支えすることができるよう考慮されている。他教科の学習という実際の言語活動に活用されることで、実の場で生きる言葉の力を育むことにも通じる。また、教材の末尾に「学びを生かそう」の欄を設け、他教科や日常生活、社会生活などへの関連を示している。
●SDGsを視野に入れたカリキュラム・マネジメントへの対応	<p>*国語科書写 新出漢字の字体を教科書体で表示したり、「小学校六年生で学習した漢字」では見本の文字を手書き文字で表示したりするなど、文字学習での関連を図っている。</p> <p>*社会 地理や歴史に関する教材を掲載している。 2年P54「水の山 富士山」, P122「敦盛の最期」, 3年P134「風景と心情」, など 各学年の総合(SDGs)教材において、社会科に関する話題も多く取り上げている。 「持続可能な未来を創るために」(1年P76, 2年P94, 3年P220) 裁判員裁判制度に関する教材を掲載している。 3年P234「自分の意見を述べるとき」</p> <p>*理科 自然や環境について話題にした教材を多く取り上げている。 2年P207「相違点を明確にして聞く」 各学年の総合(SDGs)教材において、理科に関する話題も多く取り上げている。 「持続可能な未来を創るために」(1年P76, 2年P94, 3年P220)</p> <p>*音楽 世界的音楽家、坂本龍一の文章を取り上げている。 3年P90「async——同期しないこと」</p> <p>*美術 詩画集を執筆している星野富弘の作品を取り上げている。 1年P298「花の詩画集」 写真を扱った教材を掲載している。 1年P64「写真で「事実」を表現する」, 3年P48「薔薇のボタン」</p> <p>*保健体育 スポーツ選手を話題にした教材を掲載している。 2年P72「夢を跳ぶ」, 3年P64「新聞が伝える情報を考える」, P308「言葉でつなぐ世界」, など 健康を話題にした教材を掲載している。 1年P219「読み手を意識して報告文を整える」</p> <p>*外国語(主として英語) 言語教材において、外国語(主として英語)との関係を盛り込んだ教材化を図っている。 1年P46・260「日本語の音声」, 3年P162「慣用句・ことわざ」, など</p> <p>*道徳 教育基本法や学校教育法への対応を踏まえ、各領域・事項の教材で、生命・平和・友情・人権・福祉・環境・公共・心の発達などに関わる話題・題材を取り上げている。</p> <p>*総合学習 各学年の総合(SDGs)教材において、総合学習での話題ともなるような内容を多く取り上げている。 「持続可能な未来を創るために」(1年P76, 2年P94, 3年P220)</p>
④校種間の接続	○小学校で習得した事柄を中学校でも確認し、高等学校への学習へもつなげられるように、着実に習得するための丁寧な説明や、振り返りのステップを明確に位置づけている。
●小学校との連携	○1年生の巻頭教材には、小学校教科書で広く掲載されている金子みすゞの作品「ふしぎ」(P14)を掲載し、小学校からの学習のつながりを意識させる配慮をしている。 ○伝統的な言語文化に関する教材では、小学校教科書でも多く取り上げられている日本の古典文学の素養となるような代表的な作品を反復的に教材化し、歴史的背景など中学校の学習として展開できるように図っている。 ○各学年巻末折込「理解に役立つ言葉」(折込4)、「表現に役立つ言葉」(折込6)を掲載し、小学校で学んできた各種の語彙や論理表現を振り返りながら習得、活用、発展できるように図っている。 ○教育出版の小学校国語教科書『ひろがる言葉 小学国語』とは、以下のような点で、教材の共通化や連携を設け、さまざまなスキルや着眼点の積み上げができるように図っている。 *各領域の学習のポイント「ここが大事」の共通化。 *「学び方」を本教材の前に配置し、学習内容の重点化、焦点化を図る工夫。 小学校説明文小教材, 中学校「学びナビ」 *各領域における学習過程のおさえや重点化。 学習の手引き(「みちしるべ」)、「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材の「学習活動の流れ」 *学習の手引きにおける言語、語彙などの学習の連携。 小学校「言葉」「言葉を学ぼう」「言葉をふやそう」, 中学校「言葉と表現」「この教材で学ぶ言葉」

	<p>＊語彙の拡充のための教材の連携。 ＊思考表現の定着・活用のための教材の連携。 ＊学習用語の確認、活用のための教材の連携。 ＊漢字字体の教科書体・手書き文字の共用。</p>	<p>小学校「言葉の木」、中学校「理解に役立つ言葉」 小学校「言葉のまとめ」、中学校「表現に役立つ言葉」 小学校「学ぶときに使う言葉」、中学校「学習に必要な用語（索引）」</p>
●高等学校との連携	<p>○「学びナビ」の活用をとおした（知識及び技能）と（思考力・判断力・表現力等）を有機的に結びつける学習の積み重ねによって、高等学校の学習指導要領の改訂を見据えた論理的思考力の育成につながるようになっている。</p> <p>○語彙に関する学習の充実とは表現のための語彙力を向上させ、新しい高等学校の学習で重視されることになる表現力の育成へのつながりを意識している。</p> <p>○高等学校の教科書でも多く取り上げられている作家の文章を掲載し、高等学校の「読むこと」の学習にも円滑につながるよう構成している。</p> <p>○各学年の「学びのチャレンジ」（1年P186、2年P211、3年P208）では、高校入試で導入が見られる「思考力問題」も視野に入れ、多様なテキストを読み、解釈し、自分の考えを書く形式の問題を掲載している。</p> <p>○古典学習の連携として3年P312「古典文法活用表」を発展教材として掲載している。</p>	<p>内田樹・小川洋子・川上弘美・村上春樹・森岡正博、など</p>
⑤地域性への配慮	<p>○各領域等における教材の話題、および題材は、地理的、地域的な偏りがないよう配慮している。また、どの地域にあっても同様の学習効果が得られるよう、国内はもとより、国際的な観点も含めて、教材選定や学習活動の設定に配慮している。</p> <p>○生徒に身近な地域をはじめ、他の地域についても興味や関心をもつきっかけとなるよう、教材選定に配慮している。</p>	<p>1年P212「地域から世界へ」、2年P312「季節をうたう」、3年P116「旅への思い」、各学年後見返し「ひるさと」を巡る、など</p>

3. 領域・事項などの内容と特色

(1) 知識 及び 技能

<p>「何を理解しているか、何ができるか（生きてはたらく「知識・技能」の習得）</p> <p>●言葉の特徴や使い方（言葉のはたらき、文や文章、言葉づかい、音読、朗読など）</p>	<p>○各教材に（知識及び技能）の指導事項を設定し、言語や情報の扱い方、各領域等で学ぶべき基礎的・基本的な知識・技能が身につくように、教材を作成、構成している。</p> <p>○言語教材では、単元内に「言葉の小窓」「文法の小窓」を配し、日常の言語生活から言葉の存在や機能に気づく言語学習への導入を図っている。そこから巻末の解説教材の学習に進み、詳しく体系的に学習できるよう構成している。</p> <p>○言語教材では、外国語、特に英語との関わりを意図的に取り上げ、日本語と英語の比較や日本語を母語としない立場をとおして考えることなどから、日本語の特質について理解が深まり、他の言語についても関心がもてるようになっている。</p>	<p>1年P27・272「言葉の単位」、2年P36・288「活用のない自立語」、3年P70・282「助詞のはたらき」、など</p> <p>1年P46「日本語の音声」、1年P274「言葉の単位」（日本語と英語の単位）、2年P80「話し言葉と書き言葉」、など</p>
●漢字	<p>○新出漢字は「読むこと」教材、読書教材、古典教材、「漢字の広場」「漢字の練習」の各教材で、中学校で学ぶ1110字全てを配当し、文や語彙、漢字の知識とともに学習し、漢字の活用を視野に入れた教材化で定着を図っている。</p> <p>＊脚注への取り立てや巻末の「〇年生で学習した漢字」では、手書きの際の参考となるよう教科書体で示している。</p> <p>○「漢字の広場」は各学年4本ずつ設け、漢字についての知識・理解を整理し、系統的な漢字学習ができるよう配慮している。</p> <p>○漢字の字形は「改定常用漢字表」を基準とし、「通用字体」を主として示している。「改定常用漢字表」での追加字種については、許容字体が示されているものは副次的に示している。</p> <p>○各学年の「小学校六年生で学習した漢字」では、筆順、用例と、字体は手書き文字で示し、漢字を書くことの定着を確実にすることができるようになっている。</p>	<p>1年P44「漢字の部首」、3年P68「呉音・漢音・唐音」、など</p>
●語彙・情報の扱い方	<p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、「学びナビ」で取り上げた思考力を支える具体的な表現の型を、話例、文例と関連させて取り立て、語彙や論理的思考力の育成を図っている。</p> <p>○「読むこと」教材では、教材中、重要な語句や表現は、脚注欄に「意味を確認する」「短作文成で表現に生かす」「考えるときの観点として生かす」など、学習上の観点とともに抽出し、教材の理解を助けるとともに、異なる学習場面での理解や表現に生かせるよう配慮している。さらに、それらの語句を教材の末尾に一覧にまとめ、教材でおさえるべき語句を整理し、意識化できるように図っている。</p> <p>○巻末折込に「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」を設け、語彙の拡充と、情報の扱い方とも関わる論理的思考力の具体的な手立てとなるように示している。</p>	<p>1年P256「少年の日の思い出」、2年P113「紙の建築」、3年P102「async——同期しないこと」「問いかける言葉」、など</p> <p>各学年 折込頁、回</p>
●伝統的な言語文化	<p>○長く現代まで受け継がれている我が国の言語文化を重視し、古典作品や近代文学はもとより、各領域等で、伝統的な言語文化への関心を高める教材を設けている。</p> <p>＊古典作品では、小学校での古典学習もふまえ、わが国の古典を代表する作品を素養として読み味わえるように取り上げている。そのうえで、作品の歴史的背景や全体像にふれるような解説や視覚資料を充実し、中学校での学習が深まるように工夫している。</p> <p>＊現代の生徒の関心を高められるよう、昔話など生徒の知識などとの関連も図っている。</p> <p>＊巻末付録「言葉の自習室」にも本教材と同じ作品から別の章段などを選んで掲載し、それぞれの作品を多彩に味わい、理解を深められるように工夫している。</p> <p>＊各学年に「四季のたより」4本を設け、四季それぞれを取り上げた和歌と俳句を読むことをとおして、我が国の言語文化を支えている季節感を感じ取れるように工夫している。</p> <p>＊各領域等でも、日本や郷土の文化に関わる作品や話題を取り上げている。</p>	<p>1年P110「昔話と古典」、など</p> <p>1年P296「蓬萊の玉の枝と偽りの苦心談」、2年P310「扇の物語」、3年P310「古典文学の名作」</p> <p>1年P30「春 花」、2年P92「夏 虫」、3年P114「秋 音」、など</p> <p>2年P46「日本の花火の楽しみ」、各学年 後見返し「ひるさと」を巡る、など</p>
●読書	<p>○現代の小説や随筆を読む学習と、情報活用・図書館活用・読書交流の活動を組み合わせた教材を各学年1系列設け、読書の幅を広げ、深められるようにしている。</p> <p>○日本の三大文豪の近代小説を読む学習と、それぞれの作者の生涯を紹介した資料とを組み合わせた教材を各学年1系列設け、文学や我が国の言語文化への興味を高められるようにしている。</p> <p>○各単元に設定したキーワードを踏まえ、単元に含まれる教材の話題などに関連した図書を「広がる本の世界」としてまとめて紹介し、それぞれの教材の理解をより深めるとともに、読書の充実を図っている。</p>	<p>1年P52「ベンチ」、2年P72「夢を跳ぶ」、3年P48「薔薇のボタン」</p> <p>1年P128「蜘蛛の糸」、2年P146「坊っちゃん」、3年P140「最後の一句」</p> <p>1年P28、2年P42、3年P45など</p>
●学習用語と学習事項の系統化	<p>○各学年の巻末に学習上重要な用語を整理した「学習に必要な用語（索引）」を設け3学年分の内容をまとめて示し、学習の見通しや振り返りもできるようにし、基礎の定着と発展を図っている。</p>	<p>1年P315、2年P326、3年P317</p>

(2) 思考力、判断力、表現力等

<p>①話すこと・聞くこと </p> <p>目的意識、必然性・必要感と意欲を重視</p> <p>●「対話力」「コミュニケーション力」育成の重視</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」の教材では、「何を」「どのように学ぶのか」という学習の進め方と、目指すゴールとして話例を示している。課題解決のための「対話力」「コミュニケーション力」育成を重視し、学習を視覚化することにより、生徒が学習の見通しとゴール、重点を明確におさえられるようにしている。</p> <p>○教材の始めに「学びナビ」を設け、その教材で取り組む言語活動の中でどのような思考力をはたらかせると効果的かを解説と図解で示し、活動内容を視覚化・明確化している。あらかじめ学習のポイントが示されることにより、生徒は明確な見通しをもち、</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>●言語活動の中にはたらく思考力の明示</p> <p>●振り返りによる学びの深化</p> <p>●系統・系列</p>	<p>重点を明確にして学習を焦点化して進めることができる。</p> <p>*教材の冒頭に目標を示し、「学習の流れ」で学習の過程と重点を把握しながら、教材末尾の「振り返り」で自らの学習を認識することにより、学習の深まりと次の学習への意欲をもつことができるように図っている。</p> <p>○教材は、各学年とも学習指導要領に示された「話すこと・聞くこと」の構成を踏まえ、「話す」「聞く」「話し合う」のそれぞれを重点とした3教材を設けている。</p> <p>*加えて、学年冒頭のコラム教材「話すこと・聞くこと」でペアやグループで短時間に行える活動を設け、コミュニケーションの楽しさや対話的な学習の大切さを実感できるようにしている。</p> <p>1年 P25「お気に入りの一品を紹介する」、2年 P19「質問する力をつける」、3年 P29「一言でまとめ一語から広げる」</p>
<p>●学習過程の重視</p>	<p>○主たる3教材では、学習指導要領に示された「話すこと・聞くこと」の学習過程の流れと重点を示し、言語活動を展開している。重点を冒頭に示し、生徒の側からも「どのような力がつくのか」を意識して自覚的に教材と向き合えるようにしている。</p> <p>*「学習活動の流れ」として学習過程を順序立てて示し、学習の見通しと重点を確認できるようにしている。</p>
<p>●学習の具体化、可視化と広がり</p>	<p>○「スピーチの例」など実際の学習方法の参考となるような表現モデルを示し、学習のゴールを明確にしている。あわせて、スピーチや話し合いの様子を図解したり、話例の具体的な構成や表現について解説したりして、学習の助けとなるよう工夫している。</p> <p>*「学びナビ」で取り上げた思考力が、実際の表現にどのように表れているか、図解で具体例を示している。また、話例のあとに文型などの表現を取り立て、思考力をおさえた表現活動が、今後の学習にも活用できるよう図っている。</p>
<p>●社会生活における表現力の重視</p>	<p>○社会生活における表現力や言語コミュニケーションについて取り上げたコラム教材「言葉と社会」を、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の両領域を視野に含めて教材化している。特に「話すこと・聞くこと」においては、「分かり合うための言語コミュニケーション」(2018 文化庁)の内容も踏まえながら、日常生活から社会生活まで、言語コミュニケーションの重要性を意識づける内容を取り上げている。</p> <p>1年 P26「言葉とコミュニケーション」、2年 P236「社会生活と言語コミュニケーション」、3年 P200「コミュニケーションの場を考える」</p>
<p>②書くこと  目的意識、相手意識、意欲を重視した言語活動</p> <p>●「表現力」「コミュニケーション力」育成の重視</p> <p>●言語活動の中にはたらく思考力の明示</p> <p>●振り返りによる学びの深化</p> <p>●系統・系列</p>	<p>○「書くこと」の教材では、「何を」「どのように学ぶのか」という学習の進め方と、目指すゴールの形として文例を示している。課題解決のための「表現力」「コミュニケーション力」育成を重視し学習を視覚化することにより、生徒が学習の見通しとゴール、重点をおさえて取り組みやすいようにしている。</p> <p>○教材の始めに「学びナビ」を設け、教材で取り組む言語活動の中でどのような思考力をはたかせると効果的かを解説と図解で示し、活動内容を視覚化・明確化している。学習のポイントがあらかじめ示されることにより、生徒は明確な見通しをもち、重点を明確にして学習を焦点化して進めることができる。</p> <p>*教材の冒頭に目標を示し、「学習の流れ」で学習の過程と重点を把握しながら、教材の最後の「振り返り」で自らの学習を認識することにより、学習の深まりと、次の学習への意欲をもつことができるように図っている。</p>
<p>●学習過程の重視</p>	<p>○学習指導要領に示された「書くこと」の学習過程を踏まえ、「課題の設定、情報の収集、内容の検討」「構成の検討」「考えの形成、記述」「推敲」「共有」のそれぞれを重点とした教材を設けている。一部、「読むこと」教材の中で関連的に扱う教材も設けている。</p> <p>○学習指導要領に示された「書くこと」の学習過程の流れと重点を示し、言語活動を展開することで、生徒の側からも「どのような力がつくのか」を意識して自覚的に教材と向き合えるようにしている。</p> <p>*「学習活動の流れ」として学習過程を順序立てて示し、学習の見通しと重点を確認できるようにしている。</p>
<p>●学習の具体化、可視化と広がり</p>	<p>○「意見文の例」など実際の学習方法の参考となるような表現モデルを示し、学習のゴールを明確にしている。あわせて、学習の重点の具体化のヒントを示したり、文例の具体的な構成や表現について解説したりして、学習の助けとなるよう工夫している。</p> <p>*「学びナビ」で取り上げた思考力が実際の表現にどのように表れているか、図解で具体例を示している。また、文例のあとに文型などの表現を取り立て、思考力をおさえた表現活動が今後の学習にも活用できるよう図っている。</p>
<p>●社会生活における表現力の重視</p>	<p>○社会生活における表現力や言語コミュニケーションについて取り上げたコラム教材「言葉と社会」を、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の両領域を視野に含めて教材化している。特に「書くこと」においては、日常生活から社会生活の中で、生きてはたらく、求められる表現力の重要性を意識づける内容を取り上げている。</p> <p>1年 P178「イメージを言葉にする」、2年 P69「社会で求められる表現」、3年 P234「自分の意見を述べるとき」</p>
<p>③読むこと</p> <p>「読み方」の習得・活用による深い読みの育成</p> <p>●学習過程の明確化「学びナビ」による「読み方」の習得・活用</p> <p>●学習過程の明確化</p>	<p>○「読むこと」では、生徒の興味・関心を高める話題や作者・筆者の、多彩な文章を取り上げている。</p> <p>○教材文の前に、文章が「どのように書かれているか」を知り、文章の「読み方」を学ぶ「学びナビ」を設け、教材文の読みの観点を明確化・焦点化し、主体的に読み進める観点を示している。</p> <p>*「学びナビ」の中で、特に教材の目標や読みの重点と関わるポイントを「ここが大事」として示している。</p> <p>○各教材に学習の手引き「みちるべ」を置き、「学びナビ」や「ここが大事」でおさえた「読み方」や学習の重点を踏まえて、内容を読み深められるように構成している。</p> <p>○「みちるべ」は、学習指導要領に示された学習過程を踏まえ、2段階の構成で読みを深められるようにしている。「内容を読み深めよう」……主として「構造と内容の把握」「精査・解釈」をおさえ、文章に書かれている情報を的確に読む活動を設定している。</p>
<p>●「考えの形成」の重視、対話的な学びによる学びの深化</p> <p>●(知識及び技能)(思考力、判断力、表現力等)の双方向の学び</p>	<p>「自分の考えを伝え合おう」……主として「考えの形成、共有」「言語活動」をおさえ、読んだことをもと自分の考えをまとめ、他者の読みと交流することで、対話的で深い学びを実現できるようにしている。</p> <p>* (知識及び技能)における「言葉の特徴や使い方にに関する事項」「情報の扱い方に関する事項」と、(思考力、判断力、表現力等)の関連から活用を図れるよう「言葉と表現」の活動を設け、習得と活用を意識づけて読むことができるようにしている。</p> <p>*読みにおける重要な語句や表現を脚注に取り上げ、意味調べ、短文作りなど、語彙の定着と拡充や、情報の扱い方の習熟につながる観点を示している。また、それらの語句や表現を「みちるべ」の末尾に「この教材で学ぶ言葉」として、語彙、情報の扱い方の学習を確実なものとして、次の学習につなげることができるように図っている。</p>
<p>【文学的文章】</p> <p>●現代の中学生在が読むべき作品・作家</p> <p>●詩・短詩型文学の重視</p>	<p>○文学的文章では、豊かな表現を読むことをとおして生徒の心の成長に資するような作品を多く取り入れている。</p> <p>*文章の内容や表現から、文学作品としての味わいを感じたり、自分の考えの形成を促したりするような作品、また音読や朗読で作品のよさにふれられるような作品を近現代文学などから多く選定している。</p> <p>*現在の中学生が接する世界にふれられるよう、現在活躍している作家を積極的に取り上げている。</p> <p>1年 P18「桜桃」田丸雅智、2年 P20「タロウ」重松清、3年 P16「立つてくる春」川上弘美、P22「なぜ物語が必要なのか」小川洋子、P30「私」三輪亜記、P244「パーステイ・ガール」村上春樹</p> <p>1年 P14「ふしぎ」、P140「河童と蛙」、P236「四季の詩」、2年 P242「戯」、3年 P174「初恋」、P266「やわらかな想い」</p> <p>2年 P164「短歌の味わい」、3年 P166「俳句の味わい」</p>
<p>【説明的文章】</p> <p>●読んで考えを形成する</p>	<p>○説明的文章では、SDGsに関する内容のものを含め、特に現代の生徒が日常生活や社会生活の中で向き合うべきさまざまな話題、構成、表現の文章を読むことをとおして、主体的に課題を発見し、論理的思考力が高まるようにしている。</p> <p>*表現や構成の整った説明や報告、論説、評論などの文章を取り入れ、内容の理解と自分の考えの形成を促すことができるようにしている。</p> <p>1年 P32「自分の脳を知っていますか」、P200「言葉がつなく世界遺産」、2年 P46「日本の火花の楽しみ」、P224「学ぶ力」、3年 P74「Aは哲学できるか」、など</p>
<p>●異なるテキストを関係づけて読む</p>	<p>*図表や写真などと文章の関係を捉えて読むことにより、多様なテキストの分析や解釈をする力を高める文章を取り入れている。</p> <p>1年 P86「森には魔法つかいがある」、P200「言葉がつなく世界遺産」、2年 P54「水山」富士山、P104「紙の建築」、など</p>

	<p>* SDGsをはじめ現代社会のさまざまな課題について思考し、自分の考えを形成、表現できるような話題・内容を多数取り入れている。</p> <p>1年P86「森には魔法つかいがある」、P170「子どもの権利」、2年P54「水の山 富士山」、P104「紙の建築」、P194「ガイアの知性」、3年P96「問いかける言葉」、など</p>
●複数のテキストを読む	<p>* 複数の文章を比較して読むことにより、思考力・判断力・表現力を高め、読みを深められるようにしている。</p> <p>1年P200「言葉がつなく世界遺産」、P212「地域から世界へ」、2年P46「日本の花火の楽しみ」、P54「水の山 富士山」、3年P90「async—同期しないこと」、P96「問いかける言葉」</p>
④メディアと表現 (G) 多様なメディアを理解し、考える ●情報モラルやメディア・リテラシーについての理解	<p>○生徒が日常世界でふれるさまざまなメディアを取り上げた「メディアと表現」の教材を各学年に設け、それぞれのメディアの特性を理解し、メディアの扱いや情報モラル、メディア・リテラシーに関する理解を深められるようにしている。</p> <p>* 情報モラルやメディア・リテラシーに関する内容を知識として理解し、考えるための教材を各学年に設けている。</p> <p>1年P62「全ては編集されている」、2年P84「SNSから自由になるために」、3年P60「メディア・リテラシーはなぜ必要か?」</p>
●さまざまなメディアの特性を理解する	<p>* 多様なメディアの表現の特性を理解し、言葉とメディアの関係を考える学習とおして多様なテキストを評価したり情報を活用したりする新しい学力や学習活動に対応できるようにしている。</p> <p>1年P64「写真で「事実」を表現する」、P102「広告の情報を考える」、P226「漫画で「物語」を考える」、2年P86「脚本で動きを説明する」、P186「映像作品の表現を考える」、3年P64「新聞が伝える情報を考える」、P108「ニュースで情報を編集する」</p>
⑤学びのチャレンジ 読解力を自分の力で試す	<p>○全国学力・学習状況調査や高校入試での「思考力問題」なども踏まえ、多様なテキストを組み合わせるなどして、自分の考えを書く問題を「学びのチャレンジ」として各学年に掲載し、読解力の向上を自分の力で確かめられるよう図っている。</p> <p>1年P186、2年P211、3年P208</p> <p>* 問題の文章は、文学、説明文、実用文、論説文など幅広い文種から取り上げている。</p> <p>* 図やグラフなどの非連続テキストと文章とを組み合わせるなど、異なるテキストを関連づけて読み、考え、表現する問題を設定している。</p>

(3) 付録・デジタル資料

①巻末付録教材の構成と内容 ●個に応じた指導、家庭学習の場にも対応 ●系統・系列	<p>○「言葉の自習室」や資料ページを設け、国語学習に関わるさまざまな指導事項や言語活動に関する内容を幅広く取り上げている。</p> <p>○単元教材や小教材の学習を深めたり、個に応じた学習や家庭学習、他教科で言語活動を取り上げる際の参考や支援となったりするように意図している。</p> <p>○以下のような教材を取り上げている。 * 補足的に読める作品。(文学や随筆、評論、詩、古文) * 文学史年表や伝統芸能、本や古典に関する知識など、読書や伝統的な言語文化に関するもの。 * レポートの書き方や原稿用紙の使い方、「話すこと」「書くこと」のテーマ例集など、表現学習に関するもの。 * マッピングなど思考活動に関するもの。 * 国語辞典、学習用語や論理的思考に関する語彙など、語句・語彙などに関するもの。</p>
②発展的な学習の教材	<p>○「発展的な学習」のための教材は、3年に1本を設定している。</p> <p>P312「古典文法活用表」</p>

4. その他の学習・指導への配慮

(1) 文字・表記・図版・資料

①文字、活字、書体 ●ユニバーサルデザインフォント ●書写との関連	<p>○活字は文字としての美しさと、点画など文字学習を考慮した書体を用いている。</p> <p>○一部にユニバーサルデザインに配慮した書体(ユニバーサルデザインフォント)や、デジタル機器で表示した際の視認性が向上した書体を採用している。</p> <p>○古典教材や提出漢字などで掲出している教科書体は、教育出版小学校国語教科書でも使用している、字形やユニバーサルデザインに配慮した書体を用いている。</p> <p>○巻末「小学校六年生で学習した漢字」では教育出版書写教科書の筆者の硬筆体を使用し、学習上の関連を図っている。</p>
②表記 ●原典尊重 ●漢字学習	<p>○表記・表現については、3学年を通して基準を統一し、適切な表記の仕方・用法が身につくよう考慮している。</p> <p>○文学作品は原典を尊重した表記を原則としている。特に短歌・俳句・詩教材は、原典の表記を用い、表外漢字・表外音訓や基準と異なる送り仮名などには振り仮名を付している。</p> <p>○漢字は、中学校で学ぶ1110字全てを教材中で提出している。新出漢字は、当該ページの脚注に示して文脈や語彙との関連での習得を図るとともに、当該教材末に一覧して本文提出以外の読みや用例も学習できるようにしている。また、付録に読み方・用例・筆順を全て示している。</p> <p>○字体に揺れのある漢字については、「改定常用漢字表」を規範に複数の字体を示している。</p> <p>○各学年付録「小学校六年生で学習した漢字」では、小学校6年生配当漢字の読みと書きを確実に習得できるよう、読み方・用例・筆順を示している。特に字形については全て硬筆による模範書体を示している。</p>
③挿絵・図版・写真	<p>○挿絵・図版・写真は、生徒の学習意欲を高めるもの、文章の理解を助ける資料性の高いものや、生徒の想像を膨らませるイメージ豊かなもの、活動の手順や留意点をわかりやすく示すものなど、学習に必要なものを十分に取り上げている。</p>
④ウェブサイトとの連動	<p>○教材内容に応じて「まなびリンク」を設け、学習時に参照できる生徒の自学自習に資するワークシートや、読書、参考作品、動画・画像資料などを教育出版のウェブサイトで見られるようにしている。(本資料末尾のリストを参照。)</p>

(2) 造本・装丁

①造本・印刷・堅牢性・耐久性 ●表紙・用紙・印刷 ●製本	<p>○表紙は堅牢で環境に配慮した特殊コーティングを採用。紙は軽量ながら文字の視認性が高く裏写りのない再生紙、印刷は植物を原料とした植物油インクを使用している。</p> <p>○製本は、くるみ・平綴じで、長期間の使用に耐える堅牢な方式を採用している。</p>
②表紙・デザイン ●表紙絵 ●紙面のカラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザイン	<p>○学年の発達段階に応じた物語を感じさせるイラストを用い、生徒の共感を得られるように意図されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮し、学年の基本色を設定し、統一的で落ち着いた色づかいとデザインを採用している。</p> <p>○イラストや図版は、内容が区別できるように色づかいと色彩のバランスに配慮し、形の上でも区別しやすいようにしたり、色による指示を含んだ設問や色に基づく活動を避けたりして、生徒の負担感をなくす工夫をしている。</p> <p>○学年の発達段階を踏まえ、1年生と2、3年生とでは基本の字詰め・行数を変えるなどの配慮をしている。イラストや図表などと文字の空きも十分とり、識別しやすいように配慮している。</p> <p>○専門機関(CUDO)によるチェックを経て認証を得ている。</p>
●特別支援教育への配慮	<p>○本文と脚注など内容のまとまりを明確化したり、文字と、イラストや図表、模様などの空きや重なり注意到意したり、マークやデザインの使用を統一的に整理したりするなど、教材の重点に集中でき、内容が把握しやすいレイアウトを工夫している。</p> <p>○各領域等の教材で、学習の見通しや授業過程、重点をおさえた教材化をはかり、学習のユニバーサル化に配慮している。</p> <p>* 各領域の「学びナビ」や、話すこと・聞くこと、書くこと教材での、学習内容や言語活動の具体例の図解や資料の提示、読むこと教材の「みちしるべ」で理解を促す「参考」を示すなど、どの生徒にとっても自分の力に応じて学習に取り組めるよう配慮している。</p> <p>○専門家によるチェックを経ている。</p>

第1学年



<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/ml-jh/kokugo/1.html>

第2学年



<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/ml-jh/kokugo/2.html>

第3学年



<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/ml-jh/kokugo/3.html>

●1年生 合計57本

ページ	教材名	コンテンツ内容
28	広がる本の世界1	プロの本読みテクニック！ 1
29	漢字の練習1	解答用紙
34	自分の脳を知っていますか	さまざまな「奇妙な脳の癖」の例
41	資料から得た根拠をもとに意見文を書く	「比較する」ワークシート, 平成29年度「国語に関する世論調査」, 文例全文
44	漢字の広場1	解答用紙
47	内容を整理して説明する	「関係づける」ワークシート, 話例全文
50	広がる本の世界2	プロの本読みテクニック！ 2, 年代別 中学生に薦めたい, この1冊 (20歳代編)
52	ペンチ	お薦めの本の帯やポップを作る, ポスターを書く, 本の構造, 図書館で本が貸し出されるまで (動画)
68	漢字の広場2	解答用紙
71	材料を整理して案内文を書く	「把握・理解する」ワークシート
76	持続可能な未来を創るために——人の暮らし方を考える	「学校のための持続可能な開発目標ガイド」「国連を映像で学ぶ」サイト, ジグソー学習の仕方 (動画), ワールド・カフェの仕方 (動画)
99	根拠を明確にして意見文を書く	「比較・関係づける」ワークシート, 文例全文
102	広告の情報を考える	広告の例
107	漢字の練習2	解答用紙
110	昔話と古典	歴史的仮名遣い 解説
114	物語の始まり	『竹取物語』場面と物語, 解説, 歴史的仮名遣い解説
122	故事成語	『故事成語』「矛盾」「助長」, 歴史的仮名遣い解説
128	蜘蛛の糸	「田端文士村記念館」サイト
138	漢字の練習3	解答用紙
165	随筆を書く	『漱石山房の秋』全文, 文例全文
168	漢字の練習4	解答用紙
172	子どもの権利	「子どもの権利条約カードブック」
179	調べた内容を聞く	「予想する」ワークシート, 話例全文
182	漢字の広場3	解答用紙
185	漢字の練習5	解答用紙
186	学びのチャレンジ	解答用紙
219	読み手を意識して報告文を整える	文例全文, 情報を整理して, 活動につなげよう
223	発言を結びつけて話し合う	「総括する」ワークシート, 話例全文
226	漫画で「物語」を表現する	『銀河鉄道の夜』本文 (部分)
230	漢字の広場4	解答用紙
233	漢字の練習6	解答用紙
258	漢字の練習7	解答用紙
264	日本語の文字	いろはうた, 文字のいろいろ
275	文の成分	解答用紙
280	単語のいろいろ	解答用紙, 国語辞典と漢和辞典
折込⑥	表現に役立つ言葉	表現に役立つ言葉 (用例入り)

●2年生 合計68本

ページ	教材名	コンテンツ内容
37	新聞の投書を書く	「課題を設定する」ワークシート, 文例全文
40	漢字の広場1	解答用紙
42	広がる本の世界1	プロの本読みテクニック！ 3
43	漢字の練習1	解答用紙
61	説得力のある提案をする	「計画する」ワークシート, 話例全文
65	構成を明確にして手紙を書く	「手紙の形式」ワークシート
70	広がる本の世界2	プロの本読みテクニック！ 4, 中学生に薦めたい, この1冊 (30歳代・40歳代編)
72	夢を跳ぶ	中学校司書のお薦め本10選, バリアフリー資料について知ろう, NDC (日本十進分類法) マップをもとに, 読書の幅を広げよう, いろいろな図書館に行ってみよう, 情報の特質を生かす, 引用の仕方, 図書館で本が貸し出されるまで (動画)
81	観点を明確にして伝える	「課題を設定する」ワークシート, 話例全文, アイデアの出し方
90	漢字の広場2	解答用紙
94	持続可能な未来を創るために——不平等のない世界を考える	「学校のための持続可能な開発目標ガイド」「国連を映像で学ぶ」サイト, ジグソー学習の仕方 (動画), ワールド・カフェの仕方 (動画)
115	根拠をもとに意見文を書く	「推論する」ワークシート, 文例全文, 原稿用紙の使い方と推敲, 情報を整理して, 活動につなげよう
119	漢字の練習2	解答用紙
122	敦盛の最期	歴史的仮名遣い解説, 『平家物語』「祇園精舎」「敦盛の最期」解説
132	随筆の味わい	歴史的仮名遣い解説, 『枕草子』「春はあけぼの」「うつくしまもの」解説, 『徒然草』「仁和寺にある法師」「奥山に猫またといふものありて」解説

141	漢字の練習3	解答用紙
142	二千五百年前からのメッセージ	歴史的仮名遣い解説, 『論語』解説
146	坊っちゃん	「新宿区立漱石山房記念館」サイト
186	映像作品の表現を考える	絵コンテシート
190	漢字の広場3	解答用紙
192	漢字の練習4	解答用紙
206	記事を書く	「新聞紙面」ワークシート
207	相違点を明確にして聞く	「比較する」ワークシート, 話例全文
211	学びのチャレンジ	解答用紙
233	よりよい結論を導く討論をする	「推論する」ワークシート, 話例全文
236	社会生活と言語コミュニケーション	「分かり合うための言語コミュニケーション (報告)」サイト
239	漢字の練習5	解答用紙
268	「連作ショートショート」を書く	「連作ショートショート」ワークシート
272	漢字の広場4	解答用紙
276	敬語	『敬語』解答用紙, 「国語に関する世論調査」「分かり合うための言語コミュニケーション (報告)」サイト
279	話し言葉と書き言葉	解答用紙, 「国語に関する世論調査」「分かり合うための言語コミュニケーション (報告)」サイト
282	類義語・対義語・多義語・同音語	解答用紙
288	活用のない自立語	解答用紙
292	活用のある自立語	解答用紙
299	付属語のいろいろ	解答用紙, 助詞一覧表, 助動詞一覧表
折込⑥	表現に役立つ言葉	表現に役立つ言葉 (用例入り)

●3年生 合計69本

ページ	教材名	コンテンツ内容
45	広がる本の世界1	プロの本読みテクニック！ 5
46	漢字の練習1	解答用紙
48	薔薇のボタン	グループブックトークをやってみよう, マイ本棚を作ってみよう, 読書記録シート No. 1～3, 図書館で本が貸し出されるまで (動画)
57	構成を考えて主張をまとめる	「組み立てる」ワークシート, 話例全文
68	漢字の広場1	解答用紙
71	広がる本の世界2	プロの本読みテクニック！ 6, 中学生に薦めたい, この一冊 (50歳代編)
81	具体例をもとに説明文を書く	「一般化する」ワークシート, 文例全文, 「分かり合うための言語コミュニケーション (報告)」サイト
84	漢字の広場2	解答用紙
87	漢字の練習2	解答用紙
103	説得力のある批評文を書く	「比較・関係づける」チェックシート, 文例全文, 引用の仕方, 原稿用紙の使い方と推敲
108	ニュースで情報を編集する	ニュース構成シート
113	漢字の練習3	解答用紙
116	旅への思い	歴史的仮名遣い解説, 『旅への思い』「おくのほそ道」「旅立ち」「平泉」「立石寺」解説
126	和歌の調べ	歴史的仮名遣い解説, 『和歌の調べ』解説
134	風景と心情	歴史的仮名遣い解説, 漢詩解説
140	最後の一句	「文京区立森鷗外記念館」「森鷗外記念館」サイト
160	漢字の広場3	解答用紙
164	漢字の練習4	解答用紙
180	故郷	十干と干支
197	自己PR文を書く	交流カード, 「私が学んだこと」下書き
201	表現の工夫を評価してスピーチをする	話例全文
204	漢字の広場4	解答用紙
207	漢字の練習5	解答用紙
208	学びのチャレンジ	解答用紙
220	持続可能な未来を創るために——人間の生命・存在を考える	『学校のための持続可能な開発目標ガイド』『国連を映像で学ぶ』サイト, ジグソー学習の方法 (動画), ワールド・カフェの方法 (動画)
235	意見を共有しながら話し合う	「一般化する」ワークシート, 話例全文
239	情報をまとめて作品集を作る	情報を整理して, 活動につなげよう
270	和語・漢語・外来語	「国語に関する世論調査」サイト
273	相手に対する配慮と表現	「国語に関する世論調査」「分かり合うための言語コミュニケーション (報告)」「敬語おもしろ相談室」「最近気になる放送用語『おそろいになりましたでしょうか?』」サイト
276	慣用句・ことわざ	「国語に関する世論調査」「ことば食堂へようこそ!」サイト
279	一・二年生の復習	解答用紙
282	助詞のはたらき	解答用紙, 助詞一覧表
287	助動詞のはたらき	解答用紙, 助動詞一覧表
292	文法的に考える	解答用紙
310	古典文学の名作	国文学研究資料館サイト, 古典文学の名作, 古典文学史年表
折込⑥	表現に役立つ言葉	表現に役立つ言葉 (用例入り)